

タイグルー（結合剤）・ウッド水性コーティングシステム仕様書

1. ダストモップでゴミを取り除きます。ラインテープが貼ってある場合は、きれいにはがします。
2. PK クリーナー（木床リコートクリーナー）と青パッドを使用し、自動床洗浄機で木床を洗浄します。フロアにゴミ・オイルなどの残留が無いようにします。ヒールマークがある場合は、ハンドパッド（青パッド）かポリッシャー（青パッド）で処理します。その後は、すぐにモップで水拭きをします。
3. 超極細繊維が多く汚れをからめ取りきれいにするグリーンモップ（マイクロファイバーモップ）で丁寧に水拭きします。2回繰り返し行います。1回目は、1往復できれいなモップに交換し、2回目は、2往復できれいなモップに交換します。
4. フロアが完全に乾いてからタイグルー（結合剤）を塗布します。よく振ってから容器を開けます。少量の結合剤をフロアの一部にまき、きれいな糸くずが出ないグリーンモップ（マイクロファイバーモップ）を使って薄く均一に伸ばします。（使用塗布範囲…250～350㎡/3.8L）
5. コーティングし忘れた箇所があるとトップコートと密着不良を起こす可能性がありますので塗り残しが無い様にします。約1時間フロアを乾燥させます。乾かない部分がある場合、水にひたした清潔な布で結合剤を拭き取ります。
6. タイグルー（結合剤）塗布後、トップコートは6時間以内に塗布して下さい。それ以上放置すると効果がなくなります。6時間以上経過してしまった時は、GT クリーナー（木床メンテナンスクリーナー）で拭き上げ結合剤を塗布します。
7. ベトコの水性トップコート（LP ジムコート）を専用アプリケーションで均一に塗布します（使用塗布範囲…約350㎡/19L）。一層塗布して仕上げます。2時間～3時間で乾燥します。トップコートを2層塗布する場合には、12時間以内に塗布して下さい。塗布後24時間は、通行を遮断してください。
8. 24時間後、全面が乾燥していることを確認して養生テープを除去します。
9. 日常清掃で油性帯電液は絶対に使用しないで下さい。コーティング剤を傷めてしまい光沢の低下や汚れが付着する原因になります。